

# sMedio REPORT

Vol. 5 第11期 中間株主通信 2017.1.1 >> 2017.6.30

## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2017年2月より、「デジタルトランスフォーメーションを加速する。」を、当社の新しいミッションに掲げ、社業の発展に邁進しております。

「デジタルトランスフォーメーション」とは、「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面で良い方向に変化させる」ということを意味し、その実現のためには、AI(人工知能)を活用したIoTプラットフォーム(情報基盤)をベースとしたサービスが提供されることが不可欠であります。

当社は、AIとIoTプラットフォーム分野への投資をより一層強化していくことで、ライフスタイルを変革するソリューションの提供を追求してまいります。

当社グループは、顧客をはじめ、ステークホルダーの皆様と価値を共有しながら、社会から必要とされる企業グループであり続けるため、果敢に挑戦し、自らも進化を続けていきます。

今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **岩本 定則**



**sMedio**

証券コード:3913

### 社会に貢献できる豊かなマルチメディアライフを目指して

当社は、スピーディーに (Speed)、世界市場に向けて (Sphere)、ソフトウェア (Software) 製品とサービスを提供するソフトウェア開発、サービス提供会社です。

2007年の設立以来、当社はマルチメディア、無線接続技術 (ワイヤレスコネクティビティ) 関連のソフトウェアの開発力で高い評価を獲得し、大手企業を顧客としています。

2015年3月に当社は東京証券取引所マザーズ市場に株式上場をはたし、今後は保有技術に磨きをかけて、IoT (モノのインターネット化) 社会の実現に必要な、無線接続技術とセキュリティ関連分野でのリーディングカンパニーを目指します。快適で安心な近未来のIoT社会の実現に必要なソフトウェア・サービスをソリューションとして提供していきます。

sMedioの  
強み

1  
Media  
処理技術

2  
無線通信  
技術

3  
著作権保護/  
認証技術

新製品を開発・製品化するための全ての要素技術を習得しており、マルチOS・マルチデバイスに対応できることが当社の強みでもあり、他社にマネのできない先端的な製品開発の源泉となっています。

ワイヤレスコネクティビティ関連製品を使うとこのようなことが可能になります。



このような技術の保有という強みを持っていることでワイヤレスコネクティビティ関連製品を幅広く提供することが可能となりました。様々なシーンで当社技術や製品が使われています。

sMedioが目指すもの

## 技術開発力

明日をもっとコネクティブに。

インターネット化する社会。

その進化を、技術力と

グローバルな展開力で加速する。

## 新しい魅力

お客様のために、というミッション。

そのデバイスに先進の機能を、新しい魅力を。

お客様のバリューを高める、それが私たちのバリュー。

## 世界へ

アジアから世界へ。

人材や技術というリソースを、国境を越えて結集し、

革新的なソフトウェアを、

いち早く世界へ。

## 当社グループについて

当社グループをもっと知っていただくために、株主の皆さまの疑問にお答えします。

# クラウドサービスを活用し、

Q. 1 ▶

5月に子会社化した(株)ミックステクノロジーズとは  
どのような会社なのでしょうか。



A

(株)ミックステクノロジーズは、自社開発の組込みブラウザ「Tourbillonシリーズ」やデジタルAVおよびネットワーク処理に関わる優れた技術を保有している会社になります。

(株)ミックステクノロジーズは、半導体開発にベースがあり、ソフトウェアにとどまらず、ハードウェアにも精通していることから、組込み機器のユーザーインターフェースへの対応力もあります。

今回の子会社化で、当社グループは、これまでの主力コア技術であるBD/DVD再生技術に加え、放送・通

### ■(株)ミックステクノロジーズの概要

名 称	株式会社ミックステクノロジーズ MIX Technologies, Inc.
所 在 地	福岡県北九州市若松区ひびきの1-8
事 業 内 容	ソフトウェアの開発・販売、半導体開発
資 本 金	1,000万円

信系におけるコア技術(組込みブラウザ)を獲得しました。

この技術は、次世代放送サービス実現に必須の技術であり、放送・通信連携サービスの構築やモバイル通信の5G化局面にも応用可能なものです。

## PICK UP

### ■主力製品

IPTV、BML、HTML をシームレスに切り替え可能な組込み機器向けのブラウザである、Tourbillon(トゥールビヨン)シリーズ。

### ■Tourbillon3の特長

ブラウザに情報を表示するためのモジュールを提供し、快適な視聴環境を実現。

独自のプログラム高速化技術により、ハードウェアの性能を引き出し、高速表示を実現。

デジタルテレビで利用されるデータ配信形式を広くカバーし、Tourbillon3を組込むことで、デジタル家電の開発期間の短縮が可能。

### ■今後の展開

放送と通信(インターネット)を連携させて表示するハイブリッドキャストおよびHTML5ブラウザ対応を進めていき、Tourbillon4 次世代ブラウザを発売予定(時期未定)。

2020年に向けてデジタル放送は、4K/8K対応およびハイブリッドキャスト対応を進めており、テレビ、BDレコーダー、各種セットトップボックスで組込みブラウザの新たな需要が見込まれ、映像Media処理に強みを持つsMedioとの事業分野の近さを活かし、シナジー効果を発揮することを期待。



### 組込み機器で軽量、高品質なユーザーインターフェースを実現



# ライフスタイルを変革するソリ

Q. 2 ▶

sMedio IoT Solutionの開発状況はどうなっているでしょうか。

A

sMedio IoT Solutionは、異なる無線通信規格の機器同士での相互接続を可能とする機能を基盤として、エッジデバイス、Vlog Cloud Service(クラウド)、クライアントアプリケーションを連携させるトータルプラットフォームになります。

このトータルプラットフォームで重要となるのは、媒介機能を持つ、Gateway Deviceに組み込まれたソフトウェアになります。

このソフトウェアは、①デバイス間の接続、②クラウド(インターネット)への接続の2つの機能を果たします。

エッジデバイスの中には、IPベースの通信ができないものも多く存在し、そのような非IP機器を上記①と②の機能の両方を使ってインターネットの世界に組み込むことができます。

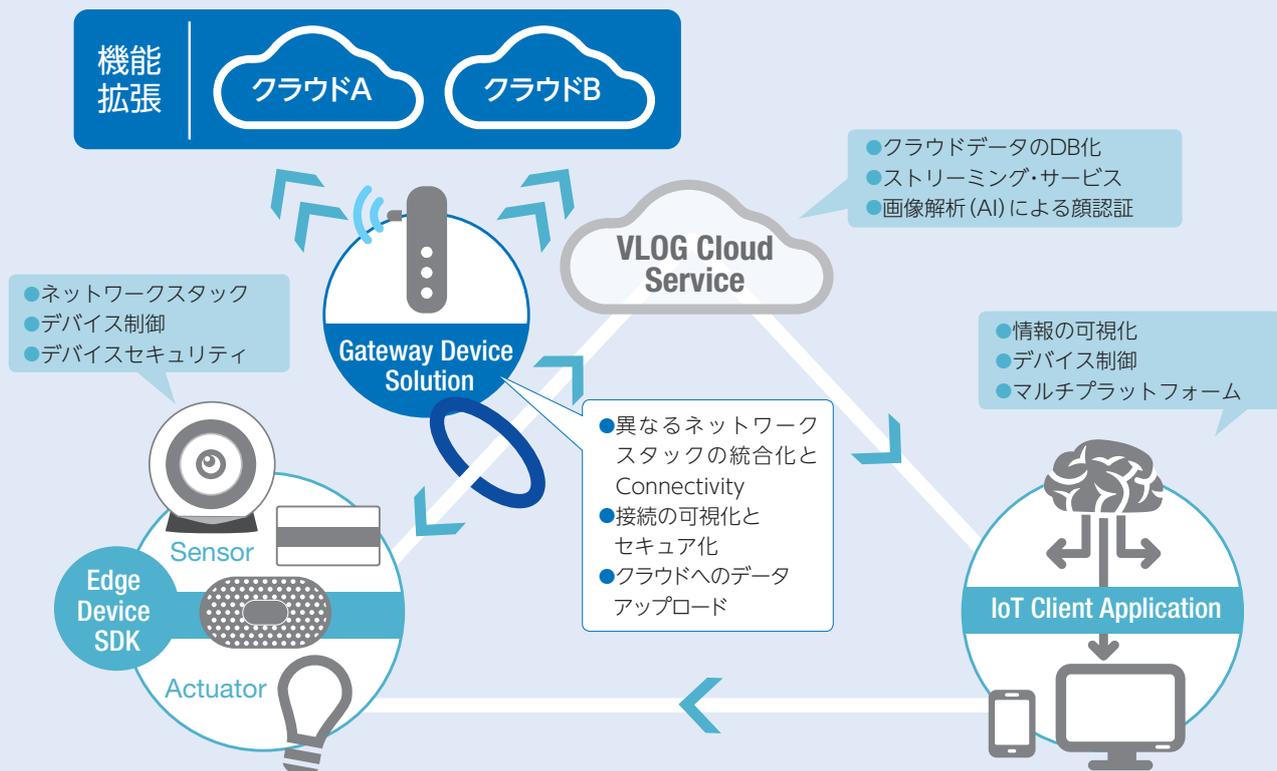
他方、②のクラウド(インターネット)への接続の機能を、拡張・カスタマイズすることで、Vlog Cloud Service以外のクラウドとの連携を可能にする開発を進めております。

これにより、既存のクラウドサービス活用も視野に入り、Gateway Device Solutionの汎用性向上につながり、IoT実用化へより貢献できると考えております。

## PICK UP

### sMedio IoT Solution

トータルプラットフォーム構築を目指す。



# ユーシオンを追求!

Q.3 ▶

sMedioの形態別売上の内容はどのようなものなのでしょうか。

A

sMedioでは、売上を契約に基づいて、大きく、3種類に分けています。受託開発収入、ライセンス・ロイヤリティ収入、保守サービス・サポート収入の3つになります。

受託開発収入は、当社が開発したソフトウェア機能を顧客製品に搭載する際に必要となる、機能追加やカスタマイズといった役務に対する収入となります。

ライセンス・ロイヤリティ収入は、当社ソフトウェアの利用に関して受け取る収入で、当社ソフトウェア搭載機器が出荷された都度、出荷台数当たりの価格を受け

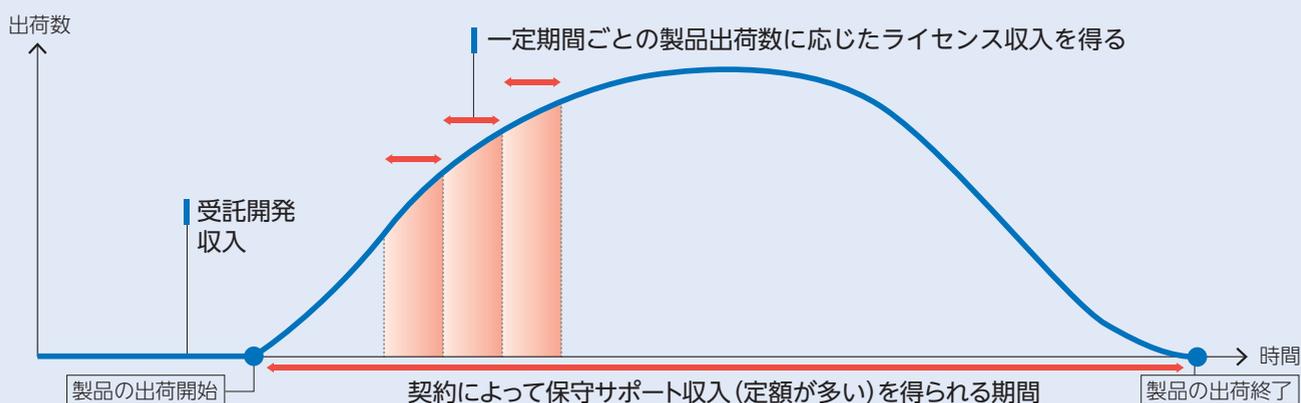
取ります。

保守サービス・サポート収入は、当社ソフトウェア利用に関して、当該ソフトウェアの利用環境の更新などに対応することで受け取る収入になります。

また、現在は、主に、ライセンス・ロイヤリティ収入に含めています、ダウンロード収入(当社サイト等でのソフトウェアを販売した場合の収入)や月額課金収入は、当社ソフトウェア搭載機器の出荷数に依存しないことから、これらの収入増に努めています。

## PICK UP

形態別売上と当社ソフトウェア搭載製品のライフサイクルとの関連イメージ



### 用語解説

#### IPTV

Internet Protocolネットワークを使用して映像コンテンツを流すサービスや受信機のこと。

#### BML(Broadcast Markup Language)

データ放送用の記述言語のことで、双方向放送やテレビからのインターネットへの接続を可能にする。

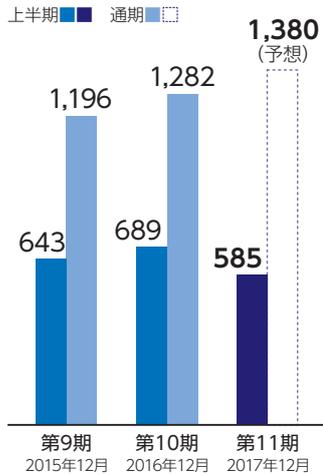
#### HTML(Hyper Text Markup Language)

Webページを作るための基本的なプログラミング言語のひとつ。

# 連結業績ハイライト

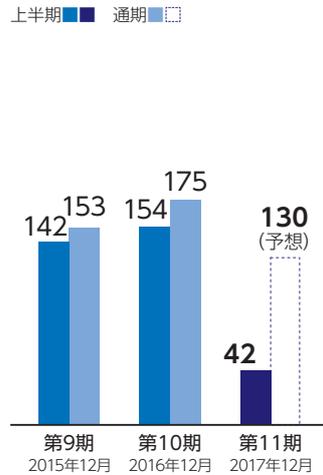
## 売上高

(単位:百万円)



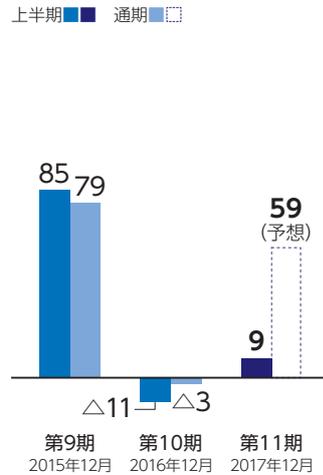
## 営業利益

(単位:百万円)



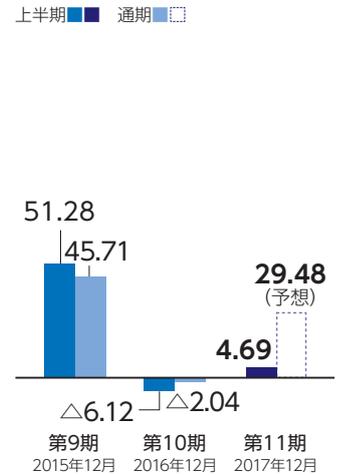
## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



## 1株当たり四半期(当期)純利益金額

(単位:円)



# 株主インフォメーション

## 会社の概要 (2017年6月30日現在)

社名	株式会社sMedio
本社所在地	〒104-0033 東京都中央区新川12-3-1 セントラルスクエア8階
設立	2007年3月16日
資本金	5億340万円
従業員数	62名 (役員含まず、子会社従業員含む)
役員	代表取締役社長 岩本 定則 取締役 中村 嘉伸 取締役 黄 七零 取締役 北埜 弘剛 取締役(独立社外) 落合 洋司 監査役(常勤)(独立社外) 石津 健鳳 監査役 渡邊 雅文 監査役(独立社外) 本郷 喜千
関連子会社等	sMedio, Inc. Taipei Branch (台湾支店) sMedio Technology (Shanghai) Inc. (中国) sMedio America Inc. (米国) 株式会社情報スペース 株式会社ピログ* タオソフトウェア株式会社 株式会社ミックステクノロジーズ

\*2017年7月1日付でsMedioと吸収合併しております。

## 株式の状況 (2017年6月30日現在)

発行可能株式総数	6,000,000株
発行済株式の総数	2,023,421株
株主数	1,916名

※2017年8月に82,500株の自己株式を取得しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
配当支払株主確定日	12月31日 (期末配当) 6月30日 (中間配当)
1単元の株式数	100株
証券コード	3913
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル) ※株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の 事務拠点の移転に伴い、2017年8月14日付にて 上記の通り変更しております。
同連絡先	電子公告により行う。やむを得ない事由により電子公告によることのできない場合は日本経済新聞に掲載する方法により行う。
公告掲載方法	

## IRカレンダー

年	月	内容
2017年	9月	
	10月	
	11月	▶ 第3四半期決算発表
	12月	
2018年	1月	
	2月	▶ 決算発表
	3月	▶ 定時株主総会
	4月	
	5月	▶ 第1四半期決算発表
	6月	
	7月	
	8月	▶ 第2四半期決算発表

株式会社sMedio

http://www.smedio.co.jp



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。